

安心安全な水を次世代でも

「大阪市水道局豊野浄水場」で薬品注入設備の更新工事を受託

～大阪市中部・東部をカバーする水インフラの刷新～

上下水道施設及び環境保全・衛生施設の設計・施工・管理を主な事業として展開する、水道機工株式会社(本社：東京都世田谷区、代表取締役社長：古川 徹、以下「水道機工」)は、2025年3月7日(金)に大阪市水道局様より「豊野浄水場硫酸ばんど・かせいソーダ注入設備改良その他工事」を受託し、3月7日(金)～2028年6月30日(金)の期間で施工を実施いたしますのでお知らせいたします。

本計画は、設備老朽化に伴い硫酸ばんど・かせいソーダ注入設備を改良する事業です。昨今、日本では浄水場施設の老朽化に加え、災害対応や更新にかかる費用の増大が大きな課題となっています。中でも、大正から昭和初期にかけて建設された施設が多くを占めており、いままさに更新・再整備の時期を迎えています。一方で、人口減少や水需要の低下により、投資回収の難しさも指摘されています。

こうした社会背景のもと、持続可能かつ効率的な水インフラの再構築が求められる中、水道機工はその課題解決に取り組むことを目的としてお客様と共に事業推進しております。

【工事概要】

今回、実施するのは凝集沈殿池で使用する凝集剤（硫酸ばんど）と pH 調整剤（かせいソーダ）の薬品注入設備の更新工事です。

凝集沈殿池は、混合池・フロック形成池・沈殿池の3つから形成されています。混合池で凝集剤（硫酸ばんど）と原水を混ぜ合わせ、フロック形成池でゆっくりかき混ぜることで細かい汚れがフロックと呼ばれる塊になり、沈みやすくなります（凝集）。フロック形成池で大きくなったフロックを沈殿池でゆっくり流すことで沈めます（沈殿）。凝集剤を添加すると pH 値が下がり、凝集しづらくなるので凝集に最適な pH 値になるよう pH 調整剤（かせいソーダ）を添加しています。

また、浄水処理の工程で凝集剤の使用等によって変化する浄水の pH 値について、目標値の 7.5 程度となるように処理工程の終盤でも pH 調整剤（かせいソーダ）を添加しています。



2025 年 6 月 12 日
水道機工株式会社

【「豊野浄水場」の概要】

名称	豊野浄水場
所在地	大阪府寝屋川市太秦高塚町 1-1
給水地域	大阪市内中部、東部
給水能力	1 日あたり 450,000 m³
敷地面積	約 180,000 m²
通水開始	昭和 43 年 7 月

【水道機工株式会社とは】

「100 年先も人と地球をつなぐ情熱で、笑顔あふれる環境を技術と製品で創造し、社会に貢献します。」
創業（1924 年）以来約 100 年間、人類と地球環境に欠かすことが出来ない水に関わる事業を展開しています。

■ 会社名	水道機工株式会社
■ 創業	1924 年 8 月
■ 創立	1936 年 1 月
■ 資本金	19 億 4,700 万円
■ 社員数	856 名（2024 年 3 月 31 日現在・連結）
■ 代表者	代表取締役社長 古川 徹
■ 本社	〒156-0054 東京都世田谷区桜丘 5-48-16 Tel. 03-3426-2131（代表） Fax. 03-3427-3388 URL https://www.suiki.co.jp